

府政



いのち・暮らし
最優先の政治を

市議員(5期)

かめただ優子

プロフィール

市議5期。1960年大阪市生まれ、結婚を機に八幡市に住む。新日本婦人の会八幡支部事務局長、PTA・子ども会会長など歴任。総務委員会所属。城南衛生管理組合議会・監査。

八幡市議として20年間、みなさんの願いを市政へ届けてきました。子どもの医療費は中学校卒業まで無料になり、高校卒業まで拡充できる展望が見えてきました。中学校給食が実現できました。今後、学校と保育園の給食費無償化をめざします。

大軍拡・大增税ノー。国の悪政を京都に持ち込ませず、いのち・暮らし優先の政治を実現するため、今度は京都府政の場でがんばる決意です。

市政



保育士の経験生かし
子育て福祉を充実

市議員(1期)

さわむら純子

プロフィール

市議1期、総務常任委員。宇治市の公立保育園で35年間、その後、障害者施設で勤務。新日本婦人の会八幡支部委員。家族は夫。趣味はオカリナ。

市議会に送っていただいて4年。12月議会では、市民のみなさんと取り組んだ請願が実り、これが力になって高校生の入院費の無料化が一步進みました。市民の声が政治を動かしています。

保育園で35年間、障害者施設で働いてきた経験を活かし、子育て支援、ハンディのある方への支援、医療と介護の充実にがんばります。安心して暮らせる市政めざし、力あわせて頑張りましょう。

高校生・入院費 4月から無料化へ

八幡市 12月議会での請願採択受け、前進へ

市民の
声が政治を
動かす



八幡市は、高校生の入院費を4月から無料化するための予算案と条例案を3月議会に提出しました。

昨年12月議会で、高校生の医療費無料化、学校給食の無償化などを求める2つの請願が全会一致で採択されました。日本共産党は毎年、市民のみなさんと教育条件の整備、子育て支援などの請願に取り組んできましたが、毎年不採択となってきました。こうした項目が採択されたのは初めてで、こうした世論の大きな変化が八幡市政、京都府政を動かしています。

日本共産党市議団は、高校生の医療費について、入院だけでなく通院も医療費

府も医療費、給食で制度改善

無料化できるよう、3月議会で市に迫ります。通院の無料化に必要な負担は1800万円です。

京都府は、小学生の医療費の助成を秋から拡充する方針を示しました。府の制度改善で市の財政負担が年1700万円軽くなります。これを活用し、通院も無料にすることが可能です。

《給食費負担軽減への補助も》

京都府はさらに子どもの教育のための総合交付金制度を立ち上げ、市町村による給食費負担の軽減や地元食材を活用する事業を支援します。この制度を活用して、給食費の負担軽減を進めましょう。

市民との共同で政治を変える

一歩一歩実現できました **日本共産党**

日本共産党八幡市議団は、市民のみなさんと力を合わせて運動し、議会での論戦、府議団、国会議員団と連携して願い実現にがんばってきました。

高すぎる国保料 値下げへ

京都府内の14市で最も高かった八幡市国民健康保険料。4人家族で課税所得200万円の場合、2015年度は42万3820円で府内最高額でしたが、22年度の場合、35万1570円となり17%引き下げることができました。(府内5位)

未就学児の均等割 → 半減

2022年度から、国保料のうち、未就学児の均等割は1人3万5000円が5割軽減されました。これによる軽減総額は市全体で400万円です。日本共産党は、就学前だけにとどめず、18歳まで広げるよう求めています。

学校体育館のエアコン設置

子育て支援では、高校卒業までの医療費を無料化できる展望が見えてきました(表面参照)。

大規模災害時に避難所となる学校体育館へのエアコン設置が進み、現在12校中8校で整備。2年後に全校で完了する計画です。京都府で最も進んでいます。

少人数学級は、全国の運動と連携して一歩ずつ進んでいます。八幡市では、全小中学校での35人以下学級の実現にあと一歩まで迫っています。

国会議員団と連携して

日本共産党は、こうした八幡市民の願い実現におけ、党国会議員団と連携して、政府省庁への要請行動に取り組んできました。

上下水道基本料金減免へ

八幡市は2022年度、新型コロナ対策として上下水道の基本料金を4カ月間減免しました。市の一般会計から1億9700万円を投入し、実現しました。

市は、2020年度以降3回にわたって、水道基本料金を減免してきました。市議団が市民の負担軽減を繰り返して求め、下水道も含め実現できました。

他の会派 値上げに賛成

八幡市は4月から水道料金を18%値上げします。2022年3月議会で、水道料金値上げの条例案を審議した時、日本共産党は反対しましたが、自民、公明、維新の会など他の会派は値上げに賛成しました。こうした姿勢で市民の暮らしを守れるでしょうか。

プラごみ 4月から毎週回収へ

4月から八幡市のプラスチックごみ回収が、隔週から毎週に改善されます。日本共産党は、プラごみの毎週回収を求めてきましたが、市も加入する城南衛生管理組合の沢中継施設(写真)の整備が整い、燃やすごみだけでなく、プラスチックごみなどの対応ができるようになりました。



八幡市内で回収したごみを中継施設に集め、大型パッカー車で処理施設に運びます。

暮らしの願い実現にがんばる

“日本共産党を伸ばすことが政治を変える一番の力”

子育て・暮らし応援

- 子どもの医療費を高校卒業まで無料に
- 学校給食費の無償化
- 高校生のタブレット端末を公費負担に
- 高校生の通学費助成を利用しやすく
- 大学学費を半額に、給付型の奨学金を増やす
- 医療と介護の負担軽減[あんしんサポートハウスなどケアハウス増設]
- 水道料金の値上げストップ[物価高騰対策で基本料金減免を]
- 下水道基金のため込み(1億9000万円)を市民に還元する

まちづくり・防災

- 京阪電鉄に対し、石清水八幡宮駅、橋本駅の整備を提案[橋本駅の無人化は中止を]
- 身近な買い物環境の整備[スーパーの誘致や移動販売、買い物時のタクシー利用への支援を]
- 公共交通予算を増やし、路線バスやコミュニティバスの充実、デマンド交通への支援
- 住宅改修助成を使いやすく
- 男山団地のエレベーター設置
- 木津川堤防の強化、大谷川などの排水機能の強化